

報道資料



MIC Ministry of Internal Affairs
and Communications

平成 20 年 9 月 2 日
消 防 庁

平成 20 年 7 月の熱中症による救急搬送の状況

総務省消防庁では、平成 20 年 7 月の熱中症による全国の救急搬送の状況をとりとまとめたので、その概要を公表します。

1 背景

平成 20 年は、各地方（奄美地方を除く）で昨年より 4 日から 23 日早く梅雨明けとなり、7 月に入ってから、全国各地で連続して真夏日（日最高気温が 30 度以上の日）が観測されるなど、厳しい暑さの日が続き、昨年より熱中症による救急搬送人員が増加したものと思われます。

このため、総務省消防庁では、昨年、大都市等について行った熱中症による救急搬送状況調査を全国に拡大して行いました。この度、結果がまとまったので公表します。

【別添資料】

- 平成 20 年 7 月の熱中症による救急搬送状況（都道府県別）（別添 1）
- 熱中症による救急搬送比率（別添 2）
- 平成 20 年 7 月の熱中症による救急搬送状況（日別）（別添 3）
- 平成 20 年 7 月の熱中症による救急搬送状況（年齢、傷病程度別）（別添 4）



(連絡先)

消防庁救急企画室

担当：松野補佐、島田係長

電 話：03-5253-7529

FAX：03-5253-7539

2 ポイント

- 平成 20 年 7 月の全国における総救急搬送人員は 412,660 人で、そのうち熱中症による救急搬送人員は 12,747 人 (3.1%) でした。これは、平成 19 年 7 月の熱中症による救急搬送人員 3,645 人の 3.5 倍となっています。
また、熱中症による救急搬送人員の総救急搬送人員に対する割合について、平成 20 年 7 月と平成 19 年 7 月を比べると、宮城県と沖縄県を除く、45 都道府県で増加しています。
- 全国各地の都市で真夏日が観測された 7 月 5 日から 6 日にかけて急増し、東海地方から東北北部が梅雨明けとなった 19 日以降は各地で猛暑日 (日最高気温が 35 度以上の日) が続いた期間において、熱中症による救急搬送人員が多くなっています。
- 熱中症による救急搬送人員の年齢区分をみると、成人が 5,382 人 (42.2%) と最も多く、次いで高齢者 (65 歳以上) が 5,070 人 (39.8%) になっています。特に、高齢者は、人口構成割合 (統計局人口推計、平成 20 年 7 月) の 21.9% と比べると、熱中症による救急搬送人員の比率が高いことがわかります。
- 熱中症により搬送された医療機関での初診時における傷病程度をみると、軽症が最も多く 7,759 人 (60.9%)、次いで中等症 4,463 人 (35.0%)、重症 366 人 (2.9%) の順となっています。また、死亡も 33 人 (0.3%) 報告されています。
 - ※ 軽 症：入院を必要としないもの
 - 中等症：重症または軽症以外のもの
 - 重 症：3 週間の入院加療を必要とするもの以上
 - 死 亡：医師の初診時に死亡が確認されたもの

3 その他

- 熱中症を予防するには、暑さを避け、こまめに水分を補給し、急に暑くなる日には注意することなどが必要です。なお、高齢者は温度に対する皮膚の感受性が低下し、暑さを自覚できにくくなるので、屋内においても熱中症になることがありますので注意が必要です。
政府では、国民へ熱中症に対する注意を呼びかけるとともに、下記の HP で熱中症の情報を提供しています。
- 環境省熱中症情報
(http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/)

平成20年7月の熱中症による救急搬送状況(都道府県別)

別添1

都道府県	総搬送人員(人)		うち熱中症搬送人員(人)		総搬送人員に対する割合(%)		昨年比(c)/(d)
	平成20年(a)	平成19年(b)	平成20年(c)	平成19年(d)	平成20年(c)/(a)	平成19年(d)/(b)	
1 北海道	16,048	15,541	111	57	0.7%	0.4%	1.9
2 青森県	3,140	3,361	44	18	1.4%	0.5%	2.4
3 岩手県	3,325	2,973	29	28	0.9%	0.9%	1.0
4 宮城県	6,424	6,538	79	29	1.2%	0.4%	2.7
5 秋田県	2,720	2,707	69	20	2.5%	0.7%	3.5
6 山形県	2,972	2,993	66	30	2.2%	1.0%	2.2
7 福島県	5,650	5,388	152	43	2.7%	0.8%	3.5
8 茨城県	8,254	8,183	211	46	2.6%	0.6%	4.6
9 栃木県	5,241	5,183	133	36	2.5%	0.7%	3.7
10 群馬県	6,271	5,881	182	36	2.9%	0.6%	5.1
11 埼玉県	20,757	20,455	619	133	3.0%	0.7%	4.7
12 千葉県	19,862	19,628	484	108	2.4%	0.6%	4.5
13 東京都	54,275	51,733	475	83	0.9%	0.2%	5.7
14 神奈川県	28,443	29,291	566	127	2.0%	0.4%	4.5
15 新潟県	6,594	6,936	217	20	3.3%	0.3%	10.9
16 富山県	2,749	2,665	105	17	3.8%	0.6%	6.2
17 石川県	2,875	2,800	146	17	5.1%	0.6%	8.6
18 福井県	2,096	1,872	98	19	4.7%	1.0%	5.2
19 山梨県	2,779	2,655	85	15	3.1%	0.6%	5.7
20 長野県	6,504	6,312	185	47	2.8%	0.7%	3.9
21 岐阜県	6,010	6,064	293	75	4.9%	1.2%	3.9
22 静岡県	11,173	10,704	408	115	3.7%	1.1%	3.5
23 愛知県	22,199	22,135	1,084	211	4.9%	1.0%	5.1
24 三重県	6,167	6,083	235	60	3.8%	1.0%	3.9
25 滋賀県	4,443	4,130	197	41	4.4%	1.0%	4.8
26 京都府	9,818	9,488	426	76	4.3%	0.8%	5.6
27 大阪府	37,360	37,606	960	199	2.6%	0.5%	4.8
28 兵庫県	17,339	17,085	725	221	4.2%	1.3%	3.3
29 奈良県	4,706	4,456	190	55	4.0%	1.2%	3.5
30 和歌山県	3,729	3,693	163	42	4.4%	1.1%	3.9
31 鳥取県	1,797	1,160	93	22	5.2%	1.9%	4.2
32 島根県	2,215	2,091	107	26	4.8%	1.2%	4.1
33 岡山県	6,110	5,878	383	87	6.3%	1.5%	4.4
34 広島県	8,912	9,036	394	125	4.4%	1.4%	3.2
35 山口県	4,947	5,043	249	76	5.0%	1.5%	3.3
36 徳島県	2,340	2,225	88	26	3.8%	1.2%	3.4
37 香川県	3,543	3,266	186	60	5.2%	1.8%	3.1
38 愛媛県	4,733	4,513	236	82	5.0%	1.8%	2.9
39 高知県	2,812	2,846	140	62	5.0%	2.2%	2.3
40 福岡県	16,456	16,167	789	237	4.8%	1.5%	3.3
41 佐賀県	2,403	2,456	131	88	5.5%	3.6%	1.5
42 長崎県	4,120	3,929	175	72	4.2%	1.8%	2.4
43 熊本県	5,608	5,500	309	107	5.5%	1.9%	2.9
44 大分県	3,743	3,494	167	95	4.5%	2.7%	1.8
45 宮崎県	2,824	2,913	165	119	5.8%	4.1%	1.4
46 鹿児島県	5,563	5,471	320	208	5.8%	3.8%	1.5
47 沖縄県	4,611	4,952	78	129	1.7%	2.6%	0.6
合計	412,660	405,479	12,747	3,645	3.1%	0.9%	3.5

※ 平成19年の調査において、19の消防本部で熱中症による搬送人員が集計不能となっています。

(北海道 2、岩手県 1、山形県 1、埼玉県 2、富山県 2、静岡県 2、愛知県 4、兵庫県 1、福岡県 2、熊本県 2)

※ 平成19年の調査において、108の消防本部で熱中症による搬送人員の中に熱中症の疑いによる搬送人員が含まれていません。

(北海道 66、宮城県 2、茨城県 2、栃木県 2、千葉県 2、新潟県 2、長野県 2、三重県 5、愛媛県 8、高知県 6、福岡県 7、沖縄県 4)

※ 平成20年の調査は、熱中症の疑いを含めて調査しています。